

消毒作業工程（建物、物品）

<使用するもの>

- ・次亜塩素酸ナトリウム（一般的に「塩素系漂白剤」（塩素濃度約5%）として販売）
- ・タオルまたはペーパータオル
- ・手袋
- ・マスク
- ・ゴミ袋
- ・バケツ

<消毒液の作り方>

★次亜塩素酸ナトリウム（市販の漂白剤：塩素濃度約5%の場合）の希釈方法

消毒対象	濃度 (希釈倍率)	希釈方法
<ul style="list-style-type: none"> ・手指がよく触れる場所や物 手すり、ドアノブ、窓の取手、照明のスイッチ、テーブル、椅子、電話機、パソコンのキーボード、水道の蛇口、洗水レバー、便器のフタ、エレベーターやコピー機等のボタンなど	0.05%	<ul style="list-style-type: none"> ・キッチンブリーチの場合、水 5L にキャップ 2.5 杯（約 50mL） ・ピューラックスの場合、水 3L にキャップ 2.5 杯（約 25mL） ※バケツに 3L、5L の線を引きます。

<服装>

- ・作業しやすい服装で行う。マスクと手袋は必ず着用する。必要に応じて内ばきをはく。
- ※消毒薬が衣服に付着すると色落ちする場合がある。
 ※防護服の着用は必要ない。

<消毒の方法>

- ・窓を開けて作業する。
- ・キッチンペーパー等に十分に消毒液を含ませて拭き、その後、タオル等で水ぶきをする。（濡れている場合には水分を拭き取った後行う。）
- ・ペーパータオルで拭き取る場合は、一度使ったら廃棄する。
- ・タオルで拭き取る場合は、消毒液にタオルを浸し、一度使ったタオルの面で次の場所や物を拭き取らない。
- ・金属部位に使用する場合は、劣化（さびる）する可能性があるため、次亜塩素酸ナトリウムの消毒液を使用する場合には考慮する。（水ぶきでも可）
- ・使用したペーパータオルやタオル、マスク、手袋はゴミ袋に入れ、口を縛って廃棄する。ゴミの処分は各施設での対応とする。

<消毒作業後の対応>

- ①手袋をはずす→②マスクをとる→③手指（30 秒以上）と顔を洗い流す→④うがい